

U-23代表候補

J 1 仙台に 1-0 勝利

サッカー男子のU-23(23歳以下)日本代表候補は11日、仙台市内でJ1仙台と練習試合を行ない、初招集の宮吉(京都)が後半にゴールを挙げて1-0で勝利した。連係メンバーや入れ替えて22選手全員が登場し、新戦力が加わったことで連係メンバーや入れ替えて22選手全員が登場し、新戦



3日間の短期合宿を終え、関塚監督は「まだ、やろうとする頭で考えながら動いていた。ただ、新戦力はこのチームでもやれるという手応えを感じさせてくれた」と総括した。

え、関塚監督は「まだ、やろうとする頭で考えながら動いていた。ただ、新戦力はこのチームでもやれるという手応えを感じさせてくれた」と総括した。

国内組の競争は激化

4人の新顔を含め、国内組による競争となつた今回の合宿。J1首位の仙台との練習試合では、初招集された19歳のFW宮吉が得点でアピールした。後半7分にパスに反応して守備ラインの裏を突くと、ワンタッチで巧みにゴール。「今回を逃

せば、次はない。チャンスがある限り、狙つていきたい」と五輪への思いを口にした。

宮吉と同じく、五輪予選で一度も招集されなかつた選手にとって、関塚監督に直接アピールできる数少ない場だった。攻撃的MF金崎(名古屋)は前線からの激しい守備で労を惜します、所属クラブが同じ永井の速さを生かすパスも狙い続けた。

新戦力だけでなく、常連組の選手にとっても状況は同じ。左サイドバックの主力だった比嘉(横浜M)が今合宿では控えに回り、吉田(清水)が主力組で試された。主将の山村(鹿島)でさえ「このままじゃ、ロンドンには行けないかもしない」と危機感を漏らわにした。欧州組やオ

J1仙台との練習試合の後半、ゴールを決めた宮吉=仙台市内

5大会連続9度目の本大会出場となるロンドン五輪の1次リーグ組み合戦選抜は、24日に行われる強化を進めるチーフは5月下旬からのトウロ国際大会(フランス)に出場する。

○復帰組のDF實藤友紀(川崎、城南高→高知大出)が、唯一の得点をアシストした。後半から右サイドバックで出場すると相手バスをカットしてドリブルで攻め上がり、宮吉のゴールへつなげた。「いい形で宮吉が動いてくれた。よかったです」と笑みをのぞかせた。

この日、川崎が相馬監督解任を発表。實藤は「残念ですが、それがプロの世界というものです。自分がやることは変わらない」と冷静に受け止めた。

實藤がアシスト

バーティング枠の選手を入れる可能性もある。18人の五輪代表入りへ、激しい争いが続く。